



ゆうすい NEWS

No.51

平成 27 年 2015. 9. 17 発行



題字: 大岡 信氏(詩人)

三島ゆうすい会事務局 〒411-0037 静岡県三島市泉町 5-3
 Fax 055-975-6516 E-mail river@yusui.org
 URL <http://www.yusui.org/>
 ※事務局員は常駐しません。
 E-mail や Fax で、ご連絡いただけると助かります。

第 12 回「身近な水環境の全国一斉調査」に、今年も協力！



6 月 7 日 (日) 8:30、塚田邸に 9 名が集合し、三島市街地班と郊外班とに分かれ、市内の河川の水質調査を行いました。市街地班は 5 名(塚田冷子、小松幸子、大村洋子、大村皖伸、水野幾子)が担当しました。源兵衛川、水の苑緑地、御殿川、桜川の 4 カ所で、気温、水温、COD の調査を行いました。

水質の汚染状態を調査する COD は、各所で 3 回水を採取し、水と薬品との反応で結果が分かるもの。今年は水量が比較的豊富なためか、市街地河川の COD は、ほとんど「とてもきれい」を示す 0 の状態でした。

当初から毎年この水質調査に参加しているのは、全国でも三島ゆうすい会だけだそうです。天気にも恵まれ、新緑豊かな川辺は大変心地よく、源兵衛川下流に見事に繁茂したミシマバイカモの手入れをしている山口東司さんにも会いました。清流の中の可憐な白い花・ミシマバイカモは、心癒してくれます。



大場川班の 4 名(平林紘治、宇水勉、柴原俊介、西川勝美)は、大場川青木橋下流、大場川神川橋下、大場川山田川の合流点の 3 カ所で行いました。雲が多かったものの晴れ間も見え、気持ちよく調査ができました。各地点の観測結果は、下記のようにになりました。

どの地点も、昨年より、少し水質が良くなっていました。

調査地点	採水時刻	現地水温	測定 1 回目	2 回目	3 回目	特記事項
大場川青木橋下流	8:46	20.9℃	4	4	3	流れに若干汚れ
大場川神川橋下	9:13	20.7℃	2	2	2	流れが速い
大場川山田川合流点	9:45	21.4℃	1	1	1	川幅が広い



楽しい演奏やセレモニーのあった舞台と観客。

第 31 回三島ホテルまつりに協力

三島ホテルまつり実行委員会は、3 月 5 日 (木) から 6 月 4 日 (木) までに 5 回開催され、塚田冷子会長、小松幸子副会長、大村洋子事務局長が出席しました。

本番の 6 月 13 日 (土) には、15:30 に本部へ集合し、今年も三島ゆうすい会は、「三島ホテルまつり」に協力しました。本部、楽寿園正門、楽寿園駅前口、楽寿園西門等を担当し、諸々の作業をとおして、約 1 万人の来場者がいたこの行事に貢献しました。みなさま、お世話さまでした。



楽寿園駅前口、同正門、同西門で、それぞれ来場者数をカウント。本部では、多くの作業や問い合わせに対応。好天で人出も多かった。

平成 27 年度環境月間県民大会 主催：静岡県・三島市 ～「ライフスタイルの变革が環境の理想郷“ふじのくに”を創る～」



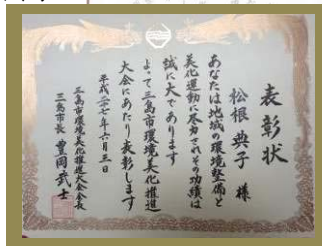
6月3日(水) 11:00～16:00、三島市民文化会館大ホールとロビーで、静岡県・三島市主催の平成27年度環境月間県民大会と併設展示が行われました。三島ゆうすい会では、活動パネル展示と『三島ゆうすい会20周年記念誌』100余冊を配布し、参加者に喜ばれました。

また、松根典子理事(右写真)は、日頃の環境美化活動が認められ、三島市環境美化功労賞の表彰を受けました。おめでとうございます。

講演会「あなたがつくる 富士山を活かしたまちづくり」【講師：東海大学海洋学部環境社会学科・東恵子教授(下写真)】は、専門の環境



デザイン、色彩、景観設計を中心に、富士山世界文化遺産登録にも携わってきたことから資料でも幅広く紹介し、無理のない仕組みづくりや地道な取り組みの大切さを語りました。美しい風景づくりへの第一歩として、近景、中景、遠景と見比べる等の誰にでも分かりやすい呼びかけは共感が持てました。また、「景観への誤解」は、聴衆への問題提起となったようです。



NHK 総合テレビ撮影の打ち合わせに！



6月14日(日)、NHK総合テレビの番組担当職員が来て、取材前の打ち合わせをしました。本格的な支度をしてミシマバイカモの手入れを体験し、番組へ取り組む真剣な姿勢に驚きました。その後、取材の日程が6月27日と決まりました。

NHK総合テレビ「ウィークエンド中部」で放映



7月4日(土)の朝、NHKテレビの『ういちゅ〜旅』で『夏の音探し〜静岡・三島』として、レポーターが「三島梅花藻の里」を訪れたときの様子が放映されました。塚田冷子会長のコメントは、「子どもたちの声がする川の方が安全でしょ!」「楽しんで友だちと遊んでいると思うとほっとした」「感激というより、ほっとする感じ」と字幕にも書かれました。

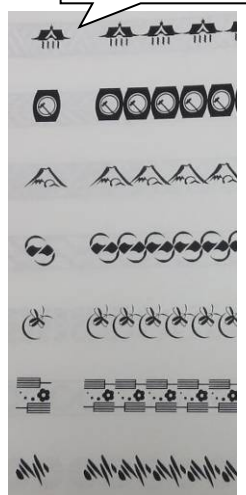
7月9日(木)の夕方に『音で感じる三島の夏』として再放送されました。上の写真5枚は、テレビ画面からのものです。

三嶋柄について学ぶ



新三嶋柄の例で、反転柄もある。上から三嶋大社、シャギリ、富士山、カワセミ、ホタル、ミシマバイカモ、せせらぎなど。

6月18日(木)の理事会では、三嶋柄についても学びました。紙抄き体験事業に三嶋柄を取り入れて、三島の産業振興に生かせることができると考えたからです。この日は、三島商工会議所青年部の三嶋柄プロジェクト関係者が5人も来て、パンフレットを配布し、2009年からの歴史や取り組みを丁寧に説明してくれました。



奈良時代縁の三嶋暦や室町時代縁の三島茶碗の文化を現代に生かそうと、このプロジェクトがスタートし、三嶋柄のステッカーや三嶋柄手拭いが誕生して三島ブランドに認定されたことや、円熟期を迎えた今年2015年には商品化を促進する等、意欲的な話が続けました。

また、三嶋柄を利用するルール(①1ラインの中に使用できる柄は1種類②2種類以上の柄を組み合わせて2ライン以上とする③1つ以上のライン状に連続するパターンとする)の説明も興味深く、質問も数多く出ました。

身延町なかとみ和紙の里・特種東海製紙株式会社&Pam 視察研修



『広報みしま』等で募集した参加者と、8月1日（土）の「水の日」に、和紙の里と製紙会社の視察研修に行きました。これは、三島市産業振興部の補助金事業の一環で、今年度、初めての試みです。

「身延町なかとみ和紙の里」では、揃いのエプロン姿で紙抄きの作品作りに挑戦。思い思いの文字や絵が出来上がっていました。「なかとみ工芸美術館」や全国の和紙2,500種の展示コーナーも見学しま

した。「身延町なかとみ和紙の里」がある身延町西嶋は、西嶋和紙の由来において修善寺と関係があるそうです。永禄13

（1570）年、武田信玄に仕えていた武士・望月清兵衛が修善寺に出向いた折に知った製紙技術を伝え、その紙を信玄に献上して喜ばれたことから現在に至っているということです。

午後は、長泉町の特種東海製紙株式会社の見学。白いキャップをかぶっての見学には、多くの職員の方々が丁寧な説明で対応してくれました。続いて、特種東海製紙 Pam（Paper and Material）の見学も、興味深いものでした。

昭和39（1964）年の東京オリンピックの入場券等珍しいチケットや、最近では芥川賞の又吉直樹著『火花』の書評の帯の用紙に使用されている等、もっと時間がほしいところでした。



Pamの外観と内部



芥川賞の『火花』の帯の用紙を説明

8月1日の視察に続き 紙手抄き・染色・額装体験（8月8日～9日）

8月1日（土）の視察に引き続き、参加者は、8月8日（土）の午前中、9日（日）の終日、三島市民生涯学習センター調理室で、紙抄き、染色、額装の体験をしました。大村皖伸理事と宇水勉理事が中心になり、事前の7月30日（木）のリハーサルに参加した理事や、特種東海製紙株式会社の関係者の協力もあり、参加者は、初めての手抄き体験に意欲をみせていました。

葉書大の作品に、翌日、筆字で残暑見舞い状を仕上げてきた人もいました。大判の手抄き紙には、気に入った文字や言葉を抄き込み、額装にまで至ると、笑顔で作品に見入っている人もいました。

また、西川勝美理事が熱転写できる三嶋柄シールを準備してくれて、それらも作品に入れてみました。これらの試みが発展し、三島の産業振興につながると思います。針葉樹を表すNの紙、広葉樹を表すLの紙についても学び、繊維が長いNの方が紙に抄いたとき丈夫であること等、様々なことを体験から知りました。

多くの準備と協力と楽しい体験に対して、感謝の言葉が寄せられました。3日間で延べ60人ほどの参加者を得て、いずれも貴重な経験だったと喜ばれました。



藤田弓子さんのひとり芝居『穴』を応援



6月28日(日)、伊豆長岡のアクシスかつらぎで、藤田さんは『戦後70年を語る』と題して作家・井沢元彦氏との対談、女優生活50年を迎え、ひとり芝居『穴』を熱演。懐かしい写真も展示されました。



ミシマバイカモ・保全活動

毎月、原則として第2日曜日の午前10時から、「三島梅花藻の里」等で、ミシマバイカモの保全活動を行っています。皆さまも、長靴やビニール手袋等をご準備のうえ、ご参加ください。比較的温暖な三島では、ほぼ1年中、ミシマバイカモの花を見ることができます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



ホームページをご覧ください！

「三島ゆうすい会」のホームページが、リニューアルされ、随時更新中です。「ゆうすい NEWS」もカラー版で見ることができ、従来のホームページも閲覧できます。ぜひ、ご覧ください。

URL : <http://www.yusui.org/>

定例活動のお知らせ



- ★いずれも、自由参加
- ★雨天の時は、原則休み

宮さんの川の清掃

- ・原則 毎朝 6:30～
- ・宮さんの川へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「宮さんの川を守る会」と共に、清掃します。

「三島梅花藻の里」で ミシマバイカモ保全活動

- ・原則毎月第2日曜日 10:00～
- ・三島梅花藻の里へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、草取り道具等

源兵衛川の清掃

- ・原則毎月第2日曜日 10:00～
- ・水の苑緑地・かわせみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「源兵衛川を愛する会」と共に、清掃します。



源兵衛川の第2、第3ゾーンと宮さんの川からシンコウパークまでの鎌倉古道の清掃活動

- ・原則毎週土・日曜日の朝 6:00～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

源兵衛川のいずみ橋から 広瀬橋までのゴミ拾いなど

- ・原則毎週土・日曜日の朝 6:30～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

桜川の清掃

- ・原則毎月第1土曜日 10:00～
- ・白滝公園へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「桜川を愛する会」と共に、清掃します。

ミニミニ水力発電コンテストに協力

8月15日(土)、白滝公園隣接の桜川で、「第2回 三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト」がありました。主催は、三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト実行委員会で、三島ゆうすい会は協賛団体の1つ。

平林紘治理事、宇水勉理事、西川勝美理事が協力に出ました。

白滝公園から豊かな湧水が流れ込む桜川では、多くの親子が自作のミニミニ水力発電設置に奮闘していたようです。



表彰式は8月23日(日)に行われ、ユニークで趣向を凝らした力作の市長賞等5作品(いずれも、三島市内の小学生の作品)は、三島商工会議所2階に展示されました。



会費納入のお願い

本年度分会費の納入にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

★正会費 3,000 円

★賛助会費 1 口 10,000 円 (何口でも可)

※下記のいずれかに納入してください。

〈お振込み先〉

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名：三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No.0346532

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

・スルガ銀行三島セントラル支店

普通預金 No.572969

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

・三島信用金庫西支店

普通預金 No.1042399

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子